

キッズリパブリック東戸塚では「イベントを開催できない期間もお客さまと繋がっていたい」という思いから、この通信とキッズリパブリックアプリで情報発信を行っています。お子さまとのうちでの生活にご活用いただければ幸いです。

つくってあそぼう 『アドベントカレンダーを手作りしよう』

●材料●
小さめの紙コップ25個／おりがみ／台紙になるボード
グルーガンまたは接着剤／セロハンテープ／白いペン
はさみ／中に入れるお菓子等



アドベントカレンダーって？
クリスマスまでの期間を数えるカレンダー。開けると中にお菓子やメッセージが入っている等、楽しいしかけがあるのが特徴です。
毎日一つずつ開け、全部開くとクリスマスがやってくるなんてワクワクしますね♪

- ① おりがみを4つに切り、紙コップの口にあて円形の印をつけよう。
- ② 白いペンで、①の緑に1～20、茶に21～24の数字を書いてね。



- ③ コップに一つずつお菓子等を入れ、②でふたをしたら、セロハンテープでぐるっと貼り付けるよ。
- ④ 25個すべてに詰めてふたをしたら、ボードにグルーガンや接着剤でしっかり貼りつけていこう♪



100円ショップで販売のPPシートを使用。コルクボードや段ボールなどを使っても◎

紙コップのサイズが100ml程度までは1/2に切ったおりがみで大丈夫です。
※これは80mlです

- ⑤ この星を切りとって、頂上の黄色の上に貼ってね



見上げてごらん秋の空を

「天高く馬肥ゆる秋」—秋になると、空が高く見えませんか？

秋の高気圧は、空気中の湿気が少ないため空が澄んで見えます。また、上昇気流が弱まり、汚れた空気が低空にとどまるため高度の高い雲が見えるようになります。そのゆるやかな上昇気流が生む代表的な雲に「うろこ雲」「ひつじ雲」などがあります。

うろこ雲



魚のうろこや敷きつめた白い小石のように見える秋の雲の代表格「巻積雲(けんせきうん)」。「いわし雲」とも。

ひつじ雲



巻積雲より大きく厚みのある「高積雲(こうせきうん)」。「羊の群れのように見えるためその名がつけました。」

秋の雲は変化があつてなんだか楽しいものです。「あれは何に見える？」とお子さんと話しながら、刻々と姿を変える雲や空を眺めてみるのもいいですね♪

⑥ これで完成！リボンやシール、おりがみ等で飾りをつけてみよう♪

アドベントとは？

「到来」を意味するラテン語が語源で、「キリストの到来」＝クリスマスにいたる4週間のことを指します。欧米ではこの期間、広場に露店が並んだり、室内のデコレーションを華やかにしたり、クリスマスを心待ちにする光景があちこちで見られます。



あると便利！ **グルーガン** 直訳すると「接着銃」！?

アドベントカレンダー作りで使ったグルーガンは、グルーと呼ばれるスティック状の樹脂を熱で溶かし接着させる道具。グルーは冷えると固まるため短時間で強力に接着ができます。ホームセンターの他、100円ショップでも買えますので、工作や手芸に活用してみたいいかがでしょうか？

